

5月20日 1966

様

新緑の候益々御清適のことと存じ上げます。私共は皆様の御協力の  
のもとに、今から4年前、京都嵯峨野において第1回科学者京都会議  
を開いて以来、広島竹原における第2回会議、および北軽井沢あり  
は鎌倉において度々勉強会を催して参りました。  
さて内外の情勢は、最近、ますます危険な兆候を示してきている  
ように思われます。こうした事態に対し、私共は昨年より度々継続委  
員会を開き検討を加えて参りました結果、下記の主題をめぐって、第  
3回の会議を東京で開くことにいたしました。今回は、十分な討議を  
経た上で、会議の終りにあたって、とくに最近の核兵器体系の発展が  
もたらす危険性についてあらためて警告する趣旨の声明を發表いたし  
たいと存じております。プログラムの詳細はいづれ御連絡するつもり  
であります。御多用中恐縮に存じますが、万障御繰り合せの上、御参  
加下さいませようお願い申し上げます。なお、この会議には下記の方  
を御招待いたしております。(アイウエオ順、敬称略)

有山兼寿、江上不二夫、江口朴郎、大内兵衛、大河内一男、  
大佛次郎、貝塚茂樹、茅誠司、久野収、桑原武夫、小谷正雄、  
坂本義和、末川博、佐久間澄、田島英三、田中慎次郎、谷川徹三、  
恒藤恭、都留重人、南原繁、野上茂吉郎、福島豊一、丸山真男、  
三宅泰雄、宮沢俊義、我妻栄、および事務局長として豊田利幸。

1° 期日： 6月30日(木)、7月1日(金)、7月2日(土)  
(10:00-18:00) (10:00-18:00) (10:00-13:00)

2° 場所： 東京 神田 学士会館

- 3° 主題：
- (a) 科学者京都会議のあゆみ
  - (b) 核兵器体系が最近どのように巨大化し、危険性を増してきたか。
  - (c) 核抑止政策の矛盾が、戦術核兵器の普及によつてどのようにあらわれてきているか。
  - (d) 平和の論理を確立するための政治理念の探求。

科学者京都会議継続委員会 湯川秀樹  
朝永振一郎  
坂田昌一

岡村 昭彦 (地下鉄丸の内線)

追記： 御都合は同封の葉書又は電話で6月15日までに  
第3回科学者京都会議事務局  
(東京都豊島区西池袋4-8-8 豊田利幸 電話 983-7601)  
にお聞かせ下さいませ幸いです。

岡村昭彦 ← 豊田氏  
伏見氏、永根氏(厚労省) ← 坂田氏